

● 大前 奈津香



「早く良くなってね」

サヤブリー県病院での一枚。家族の誰かが病気になるれば、家族全員で病院へ来るのは当たり前。病人より家族の方が多い病院。家族を何より大切にするラオスの人柄を感じました。

● 榎原 麻起子



「“あたま・かた・ひざ・ぼん！”

ケオクの子どもたちにプチ日本語レッスン!“あたま・かた・ひざ・ぼん！”と手遊びしながら、みんな楽しんでくれました。終わってからも、復習してくれているのを見て、教師冥利に尽きました。

● 須古井 京子



「6年後に東京で会いたいなあ！」

サヤブリー県で本間さんが指導されているバレーボールチームの子どもたち(15歳~18歳)と国際親善試合(?)を行った。チームの中には国の代表選手候補も数名いました。オリンピック選手になって、東京で再会できたら素敵！



「初めてのリコーダー」

ケオク子どもセンターでの交流の一枚。リコーダーは見たことも聞いたこともないと言っていた子どもたち、初めて手にするリコーダーにこの笑顔！音を出すのは難しかったけれど、みんな一生懸命でした。



「ルアンプラバンに咲いていた花」

熱帯の湿気の多さが植物に優しいのか、日本では温室で見えるような植物、花屋さんでしか見たことのないような植物がたくましく自生しているのをよく見かけました。自然豊かなラオスの植物・動物にも興味津々。



「今日も、お兄ちゃんと一緒」

少数民族の村で出会った兄弟。弟が持っているおもちゃの車もお兄ちゃんの手作りかな。ラオスの村では、小さな弟や妹を、こうして抱っこしてあやしている姿をよく見かけました。日本でも、昔はよく見かけた光景かも。



● 鈴木 康弘



「心のつながり」
青年海外協力隊として、バレーボールの指導にあたる本間さん。生徒との心のつながりを感じた一瞬だった。



「驚き」
ウェイストピッカーの存在を初めて知った。私には知らないことがたくさんある。

● 辻 真美



「HAND MADE」
ホアイホン職業訓練センター。美しい民族衣装のシンを始め、織物が有名なラオス。あらゆる現場で機械化が進む中、全てがHAND MADEの世界でした。



「ヌン(1)、ソン(2)、サン(3)、それっ！」
日本文化の交流タイム。言葉の壁を超え、どの教員も本領発揮！和太鼓と一緒にやり、研修中で最も笑顔とエネルギーを放出した時間でした。もっと時間をもらって授業をしたくなってしまったのが、教員の性です。

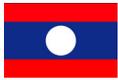
● 新倉 春美



「除去した不発弾(UXO-Laoにて)」
UXO-Laoにて除去した不発弾と共に。日本の生徒たちが「平和でない状態」をイメージするのは困難である。本物が持つインパクトとそこから引き出される生徒たちの感情的変化を大切にしたい。



「環境教育のアクティビティ」
青年海外協力隊の隊員さんにより、サヤブリーの子どもセンターにて行われた環境教育のアクティビティ。ラオスの学校現場において環境教育はまだ馴染みが薄いため、地域の施設が果たす役割は大きい。



● 林 雄一



「ウェイストピッカーの女の子」

ルアンパбанの最終処分場で、ウェイストピッカーの子どもたちを見た。彼らは、決して恵まれているとはいえない自分たちの境遇を、どのように感じているのだろうか。



「ケオク子どもセンターで書道体験」

ケオクの子どもたちと一緒に書道。「天」と「月」を書いてみましたが、みんな器用に筆を扱い、美しい字を書いていました。カタカナで「ラオス」と書いてくれた子も。うまい！！

● 松本 隆史



「開発と持続」

少数民族の村では、祖父・父等は山に畑仕事、祖母・母等は家事と内職、子ども達は大勢で自然の中で遊んでいた。なぜか、自分の幼いころが懐かしく思い出される時間だった。開発とは古いものを無くして新しくすることではない。ラオスのよさを持続させる開発を、我が国は国際社会と協調して、支援していく必要があると感じた。



「ぼくの居場所」

ラオスを南北に流れ、ラオスに暮らす人々に多くのものを与えてくれる母なるメコン川。父・船長、母・サポート、僕・サービス。仕事の後、やっぱり落ち着くのは父と母の間。

● 矢部 航一郎



「夜に寄る」

一緒に旅した仲間、ガイドさん、そして通訳さんには本当に助けられたし、学ばせてもらった！毎日語った！そしてみんな関心の方向性が微妙に違って、これが刺激的で、勉強になった。コープ・チャイ ライライ！



「研修終盤！立ち寄った食堂からの眺め」

ラオスはこれからこの先目覚ましい経済発展を遂げていくと思うが、このきれいな景色、環境、文化、笑顔を大切に守りながら発展していったらと願う。10年後にきたい（期待）！



集合写真



上: 青年海外協力隊 (環境教育) 活動 (青年海外協力隊と子どもセンターの子どもたち一緒に)



中: ルアンプラバン教員養成短期大学 (先生方と一緒に)



下: 学校図書室の地域への展開事業/NPO 法人ラオスの子ども ALC (職員と子どもセンターの子どもたちと一緒に)